

株式会社 ミツバ
ミツバグループ
国立大学法人 群馬大学
桐生 生 市

2018年、桐生で、地域の移動課題解決に向けた モビリティネットワーク社会実装研究に取り組みます

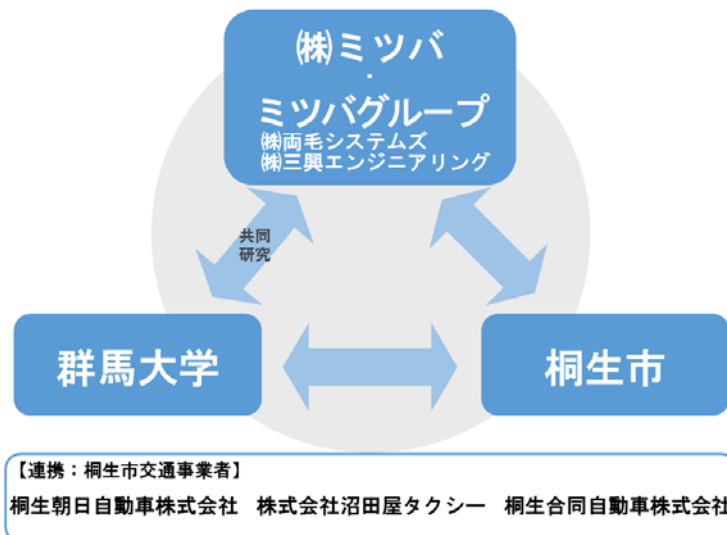
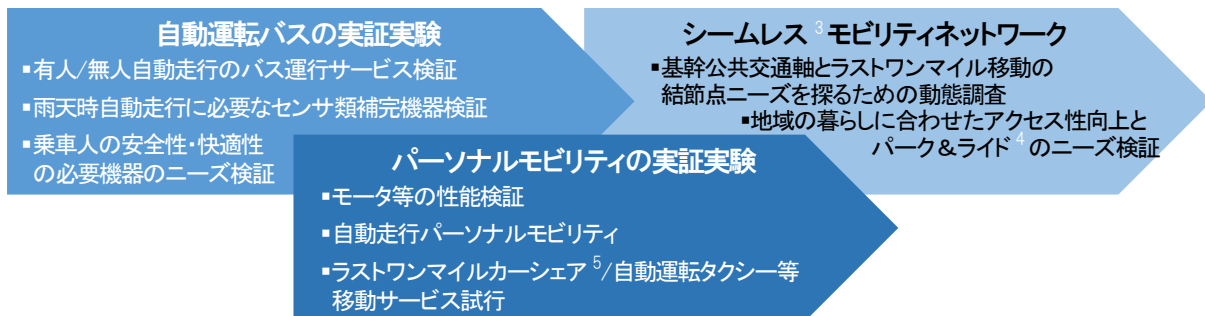
～ミツバと群馬大学が桐生市プロジェクトを始動～

株式会社ミツバおよびミツバグループ（代表取締役社長：長瀬裕一、以下「ミツバ」）、国立大学法人群馬大学（学長：平塚浩士、以下「群馬大学」）、桐生市（市長：亀山豊文）はこの度、2018年度に、桐生市における地域の移動課題の解決に向けたモビリティネットワーク構築のための社会実装研究に、三者で協働して取り組んでいくことを合意するに至りました。

本取り組みは、自動運転バスや電動パーソナルモビリティ¹の車両を用いて、最寄りバス停、商業施設、病院までの生活圏内ラストワンマイル移動²を、将来的に住民に提供していくことを目指し、地域住民の方々に参加して見聞き・体験してもらえる実証実験としておこなっていくものです。

モビリティネットワーク社会実装研究のプロジェクト構想

（実施場所・時期等の詳細は今後の協議および調整され次第、別途お知らせする予定）



	連携・役割
株式会社 ミツバグループ <small>株式会社両毛システムズ 株式会社三興エンジニアリング</small>	電動モビリティ/パーソナルモビリティの提供および新価値商品の実証実験の実施、移動サービス事業のニーズ収集・開発等
群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター	自動運転システム実証実験パッケージの提供および実証実験の実施、その他関連する自動運転実証実験事業等
桐生市	実験フィールドの提供、地域住民・公共機関等との調整、情報発信等

¹ パーソナルモビリティ：短距離移動の利便性向上を目的とした、歩行と自動車やバイクといった既存移動体との中間的な乗り物のことです。
² ラストワンマイル：最寄り駅やバス停と自宅や目的地の間など短距離の移動のことです。
³ シームレス：複数の交通手段を組み合わせる際に、出発地から目的地までを切り目なく移動できる状態のことです。
⁴ パーク&ライド：自家用車と公共交通を組み合わせ、市街地などの交通需要の抑制と利用者の利便性を向上する仕組みのことです。
⁵ カーシェア：登録を行った会員間で特定の自動車等を共同使用するサービスないしシステムのことです。

本プロジェクトは、ミツバと群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターが連携して推進してまいります。ミツバは、主力事業の運転者/搭乗者の利便・快適そして安全・安心を提供する技術力に加え、EV駆動モータなどの自動運転車両に活用できる自社製品群を基盤に、今後、地域社会に必要とされるモビリティを構成する技術の提供を目指します。群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターは、地域限定の完全自動運転が根付く社会システムの構築に向けて、自動運転車両を起点とする仕組みやサービスの開発に資する社会実装研究を進めていきます。

産学官連携が深く根付く地場の強みをいかした地域密着型プロジェクトとして、ミツバ、群馬大学、桐生市は、下記に取り組んでまいります。

- 地域の暮らしに見合った移動手段や移動スタイルを把握し、自家用車以外の多様な移動手段に対するニーズ収集やサービスイメージの検証・開発に取り組めます
- 基幹公共交通軸となる公共交通バスと結節する移動手段・サービスを導入・検証し、利便性を高めるシームレスなモビリティネットワークを構築し、地域住民の移動の活性化・コミュニティの活性化に取り組めます
- 人口減少・超高齢社会のまちづくりに寄与できる、地域で持続可能な、多様な移動サービスの利用・提供の事業モデル創出に取り組めます
- 乗車人の安全確保、安らぎの提供、および社会インフラと連携した移動制約者・交通弱者を保護する技術の創造を通して、モビリティ自体の魅力を高める可能性の検討に取り組めます

■モビリティネットワークの構築

～電動モビリティを軸とした社会ネットワーク～

- 郊外と中心市街地の移動
- 地域コミュニティ活性化
- 物流の効率化



本件に関するお問い合わせ先

株式会社ミツバ 総務部総務課広報グループ 安達 TEL : 0277-52-0187

群馬大学 研究・産学連携推進機構 研究・産学連携戦略本部 URA室
次世代モビリティ社会実装研究センター担当 宇野 TEL : 027-220-7547

桐生市 総合政策部企画課大学連携推進担当 金子 TEL : 0277-46-1111 内線 577